

全国パーキンソン病友の会

茨城県支部20年の歩み

【 1977年～1985年度 】

- 1976年 11月 ・全国パーキンソン病友の会結成
- 1977年 6月 ・全国友の会会報創刊号発行
- 1983年 5月 ・茨城県難病団体連絡協議会結成
- 1984年 3月 ・機関紙「いばらぎ難連」創刊号発行
- 1986年 3月 ・全国パーキンソン病友の会 茨城県支部設立
「記念講演」筑波大学付属病院 金沢一郎 先生

「全国パーキンソン病友の会」
17番目の県支部発足
広範囲に活動展開へ



「全国パーキンソン病友の会」は、1976年11月に結成された。この会は、全国的に活動展開を遂げ、現在までに17の県支部を発足させている。茨城県支部の発足は、この活動の重要な一歩である。支部の活動は、患者の相互支援、情報提供、そして社会への啓蒙活動に重点を置いている。また、定期的な集まりや講演会を開催し、患者の生活の質を向上させることに努めている。

「顔」

先頭に立って活動
事務局長記者ぜひ欲しい



「顔」は、全国パーキンソン病友の会茨城県支部の活動に関する記事である。記事は、支部の事務局長が記者として活動することの重要性を説いている。先頭に立って活動することで、社会への理解を深め、患者の権利を擁護することができる。また、記者としてのスキルを駆使して、患者の声を届けることもできる。記事は、支部の今後の活動方針や、記者としての役割について詳しく述べている。

「一人でも多く参加を」
23日に結成準備会

友の会県支部を結成
23日、水戸で準備会

3月2日

3月2日

「一人でも多く参加を」は、全国パーキンソン病友の会茨城県支部の結成準備会に関する記事である。記事は、23日に水戸で開催される準備会への参加を呼びかけている。一人でも多く参加することで、支部の結成をスムーズに進め、活動の基盤を固めることができる。また、準備会では、支部の活動方針や、今後の活動計画について話し合いが行われる。記事は、準備会の重要性や、参加の意義について詳しく述べている。

「23日に念願の設立」
県に補助など協力要望

全国パーキンソン病友の会県支部

石岡の清水さんら

「23日に念願の設立」は、全国パーキンソン病友の会茨城県支部の設立に関する記事である。記事は、23日に念願の設立が行われ、県に補助などの協力要望を出していることについて述べている。支部の設立は、患者の生活の質を向上させるために大きな一歩である。また、県からの補助や協力は、支部の活動をさらに充実させるために不可欠である。記事は、支部の今後の活動方針や、県からの協力要望について詳しく述べている。

【 1977年～1986年度 】

- 4月
- ・「全国パーキンソン病友の会茨城県支部」茨城難病団体連絡協議会に加盟
 - ・支部会報創刊号発行

県が三保健所で各三回実施

専門医が医療相談

会長に 横島氏 県難病団体連が総会

【本報記者 山本 正一】

「パーキンソン病友の会」の会報「パーキンソン」は、今年四月十一日、第百一十二号を発行した。この会報は、パーキンソン病患者の相互の連絡、情報交換、相談の場として、また、患者の生活の向上、社会生活の充実、家族の理解の促進、社会への啓蒙の場として、重要な役割を果たしている。この会報の発行に当たっては、県が三保健所で各三回実施した専門医による医療相談が大きな役割を果たした。この相談会は、県立総合医療センター、県立中央病院、県立水戸病院の各三保健所で実施された。この相談会には、専門医として、東京大学医学部神経内科の横島 隆一先生が参加された。横島先生は、パーキンソン病の診断、治療、生活指導について、多くの患者に有益なアドバイスをされた。この相談会の実施に当たっては、県が三保健所で各三回実施した専門医による医療相談が大きな役割を果たした。この相談会は、県立総合医療センター、県立中央病院、県立水戸病院の各三保健所で実施された。この相談会には、専門医として、東京大学医学部神経内科の横島 隆一先生が参加された。横島先生は、パーキンソン病の診断、治療、生活指導について、多くの患者に有益なアドバイスをされた。

【本報記者 山本 正一】

「パーキンソン病友の会」の会報「パーキンソン」は、今年四月十一日、第百一十二号を発行した。この会報は、パーキンソン病患者の相互の連絡、情報交換、相談の場として、また、患者の生活の向上、社会生活の充実、家族の理解の促進、社会への啓蒙の場として、重要な役割を果たしている。この会報の発行に当たっては、県が三保健所で各三回実施した専門医による医療相談が大きな役割を果たした。この相談会は、県立総合医療センター、県立中央病院、県立水戸病院の各三保健所で実施された。この相談会には、専門医として、東京大学医学部神経内科の横島 隆一先生が参加された。横島先生は、パーキンソン病の診断、治療、生活指導について、多くの患者に有益なアドバイスをされた。

- 5月
- ・第10回全国大会「北海道・札幌市」に参加
 - ・JPC結成総会に参加



全国パーキンソン病友の会北海道大会記念 於 昭和野山 5-61.6.9

- 10月
- ・国立精神・神経センターの設立
 - ・JPC全国交流会「静岡県・熱海市」に参加
 - ・第1回患者・家族交流会「いこいの村ひめま」で開催



4月 第2回支部総会 記念講演 筑波大学付属病院 金澤一郎 先生 講演

全国パーキンソン病友の会
群馬支部（清水幹雄支部長、会
員八十五人）の第二回定期総
会が五日、水戸市千波の職民
福祉センターで行われた。
清水支部長のあいさつなど
の後、講演に入り、六十二年
度の活動方針として①未加入

パーキンソン病
潜在患者の発掘を
友の会県支部が総会



全国パーキンソン病友の会
群馬支部第二回定期総会

活動方針などを決めた県支
部の第二回総会
の潜在患者の発掘に努めると
ともに、一般社会へ同病の啓発
宣伝を行う②会員相互の親ほ
くと団結を深めるための研究会
や交流会を確く③総会による

患者宅訪問を行う④県難産な
どの難病団体との連携を深め
る⑤支部会報を発行するこ
とを決めた。
また筑波大の金沢一郎助教
授の講演もあり、出席した患
者や家族らが熱心に旨を傾け
た。
パーキンソン病は脳せんや
筋肉の硬直からくる歩行障
害、言語障害など症状が出る
難病で、原因不明で、確立し
た治療法もない。患者は人口
十万人に対し四、五十人いる
といわれ、県内にも千百人か
ら千四百人いると推測されて
いる。
同支部は昨年三月に全国十
七番目の支部として発足、未
加入患者の発掘や一般社会へ
の啓発活動のほか、国や県に
対して研究体制の確立と医療
福祉の充実などを働きかけて
いる。

62. 4. 6

5月 第11回全国大会「東京・南青山」に参加

9月 第2回患者・家族交流会「塩原温泉・ぬりや」で開催



心やすらぐおふくろの味 **ぬりや旅館** 日光国立公園 塩原温泉

11月 JPC全国交流会「福島県・二本松」に参加

4月 パーキンソン病友の会茨城県支部長 清水昇勝 氏が茨城難病連会長に就任
第3回支部総会 記念講演 東京都立神経病院 田辺等 先生講演

10月

第3回患者・家族交流会「大子温泉・福寿荘」で開催



全国パーキンソン病友の会茨城県支部 昭和三十九年十月一日撮影

6月 茨城難病連JPCに加盟
第12回全国大会「大阪府・大阪市」に参加



11月

JPC全国交流会「滋賀県・大津市」に参加



【 1989年度 】

- 4月 第4回支部総会 記念講演 順天堂大学病院 榎林博太郎 先生 講演
- 5月 第13回全国大会「埼玉県・嵐山」に参加
- 6月 JPC国会請願・衆議院で採択
- 10月 第4回患者・家族交流会「八郷町・つくばね」で開催



全国パーキンソン病友の会茨城県支部 H.1.10.21. 於つくばね

JPC全国交流会「長野県・諏訪市」に参加

【 1990年度 】

4月 第5回支部総会記念講演 全国療育相談センター 宇尾野公義 先生講演

5月 第14回全国大会「愛媛県・松山市」に参加



10月 支部設立5周年記念企画「ザイラーピアノデュオ」コンサート開催



10月 第5回患者・家族交流会「十王町・鶴の岬」で開催

29日に秋の交流会
 パーキンソン病友の会県支部
 アマ歌謡連盟
 石浜安彦が中心
 心温まるものに

（左側）
 29日（日）午後7時、十王町鶴の岬の保養所にて、パーキンソン病友の会県支部主催の「秋の交流会」が開催された。当日は、アマ歌謡連盟の石浜安彦氏が中心となり、多くの病友とご家族が参加された。交流会は、石浜氏の朗読とアマ歌謡の演奏から始まり、病友の会長の挨拶、石浜氏の講話、そして、病友とご家族の交流の場が設けられた。交流会は、病友とご家族の心温まるものとなった。交流会の模様は、本紙の29日（日）版に掲載された。

（右側）
 交流会の様子。石浜安彦氏が朗読を行っている。病友とご家族が参加している。

三條



**ザイラー
ピアノ・デュオ
チャリティ
コンサート**
inつくば

「ザイラーピアノ・デュオ」は、1985年に設立された、障がい者音楽グループです。メンバーは、聴覚障害者、知的障害者、肢体障害者など、多岐にわたります。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、成長を遂げています。今回のチャリティコンサートは、その活動の成果を披露し、社会への理解と支援を呼びかけることを目的としています。



11月10日(日)
午後1時開演、2時開演
会場：つくば市立市民会館
入場料：2,000円
主催：つくば市立市民会館
後援：つくば市、つくば市立市民会館
お問い合わせ：つくば市立市民会館
電話：0299-22-1000
〒305-1122 つくば市中央1-1-1

「ザイラーピアノ・デュオ」のメンバーは、それぞれが独自の才能と努力を注ぎ、音楽の世界で活躍しています。彼らの演奏は、心打つような美しさと、力強い表現力を持っています。今回のコンサートでは、クラシックから現代音楽まで、幅広い曲目を演奏し、観客に感動を届けたいと考えています。

1月8日(木)
第128号

●配布サービス地域
15市町村
●配布枚数
1875,000部
(世帯別配布枚数)

**ザイラー夫妻招き
18日に親友会開催**
パーキング病患者

「ザイラー夫妻招き親友会」は、12月18日(日)午後2時から、つくば市立市民会館で開催されます。この会は、パーキング病患者の相互支援と情報交換を目的として開催されています。また、ザイラー夫妻の演奏を聴く機会も設けられています。参加費は無料です。



ザイラー夫妻の演奏は、聴衆を魅了する素晴らしいものでした。彼らの演奏は、心打つような美しさと、力強い表現力を持っています。今回のコンサートでは、クラシックから現代音楽まで、幅広い曲目を演奏し、観客に感動を届けたいと考えています。

茨城版

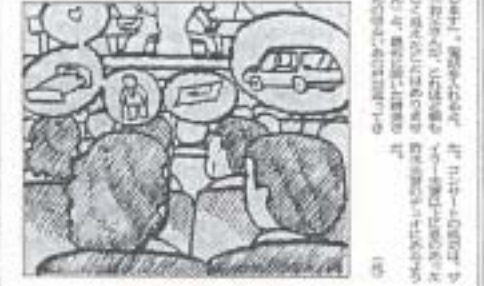


成功のかけに夫妻のデュオ

「成功のかけに夫妻のデュオ」は、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、成長を遂げています。今回のチャリティコンサートは、その活動の成果を披露し、社会への理解と支援を呼びかけることを目的としています。

「成功のかけに夫妻のデュオ」のメンバーは、それぞれが独自の才能と努力を注ぎ、音楽の世界で活躍しています。彼らの演奏は、心打つような美しさと、力強い表現力を持っています。今回のコンサートでは、クラシックから現代音楽まで、幅広い曲目を演奏し、観客に感動を届けたいと考えています。

「成功のかけに夫妻のデュオ」のメンバーは、それぞれが独自の才能と努力を注ぎ、音楽の世界で活躍しています。彼らの演奏は、心打つような美しさと、力強い表現力を持っています。今回のコンサートでは、クラシックから現代音楽まで、幅広い曲目を演奏し、観客に感動を届けたいと考えています。



タクタ薬局
〒305-1122 つくば市中央1-1-1
電話：0299-22-1000

**パーキング病患者
心弾み明るく**

「パーキング病患者」は、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、成長を遂げています。今回のチャリティコンサートは、その活動の成果を披露し、社会への理解と支援を呼びかけることを目的としています。

ザイラー夫妻招きピアノ二重奏

「ザイラー夫妻招きピアノ二重奏」は、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、成長を遂げています。今回のチャリティコンサートは、その活動の成果を披露し、社会への理解と支援を呼びかけることを目的としています。



「ザイラー夫妻招きピアノ二重奏」のメンバーは、それぞれが独自の才能と努力を注ぎ、音楽の世界で活躍しています。彼らの演奏は、心打つような美しさと、力強い表現力を持っています。今回のコンサートでは、クラシックから現代音楽まで、幅広い曲目を演奏し、観客に感動を届けたいと考えています。

「ザイラー夫妻招きピアノ二重奏」のメンバーは、それぞれが独自の才能と努力を注ぎ、音楽の世界で活躍しています。彼らの演奏は、心打つような美しさと、力強い表現力を持っています。今回のコンサートでは、クラシックから現代音楽まで、幅広い曲目を演奏し、観客に感動を届けたいと考えています。

1990年(平成2年)11月5日

ザイラー夫妻の演奏会
パーキング病患者の会
11月5日(日)午後2時開演
会場：つくば市立市民会館
入場料：2,000円
主催：つくば市立市民会館
後援：つくば市、つくば市立市民会館
お問い合わせ：つくば市立市民会館
電話：0299-22-1000
〒305-1122 つくば市中央1-1-1

4月 第7回支部総会 記念講演 筑波大学付属病院 水沢英洋 先生 講演

12月17日難病講演会
 パーキンソン病
 友の会県支部
 全国パーキンソン病友の会県支部は「パーキンソン病—過去・現在そして未来」と題した講演会を十二日午後一時から、水戸市千波町の親睦会福祉会館で開催する。

パーキンソン病は全身の筋肉が硬直し、動かしこがでなくなるといわれる。今回は筑波大学付属病院 脳神経内科の水沢英洋医師が講演する。入場無料。問い合わせは同支部長、清水さん (0270-22-5155) (ボ)。

6月 10月
 JPC全国交流会「東京・霞ヶ関」に参加
 第7回患者・家族交流会「いこいの村ひぬま」で開催



パーキンソン病友の会 平成4年10月3日 於いこいの村沼田

他難病団体と連帯を
 ソン病友の会 水戸で定期総会

全国パーキンソン病友の会水戸支部は、12月17日、千波町の親睦会福祉会館で講演会を開催した。講演者は、筑波大学付属病院の脳神経内科の水沢英洋先生。先生は「パーキンソン病—過去・現在そして未来」と題して講演された。先生は、パーキンソン病は全身の筋肉が硬直し、動かしこがでなくなるといわれる。今回は筑波大学付属病院 脳神経内科の水沢英洋医師が講演する。入場無料。問い合わせは同支部長、清水さん (0270-22-5155) (ボ)。

5月 第16回全国大会「神奈川県・横浜市」に参加



【 1993年度 】

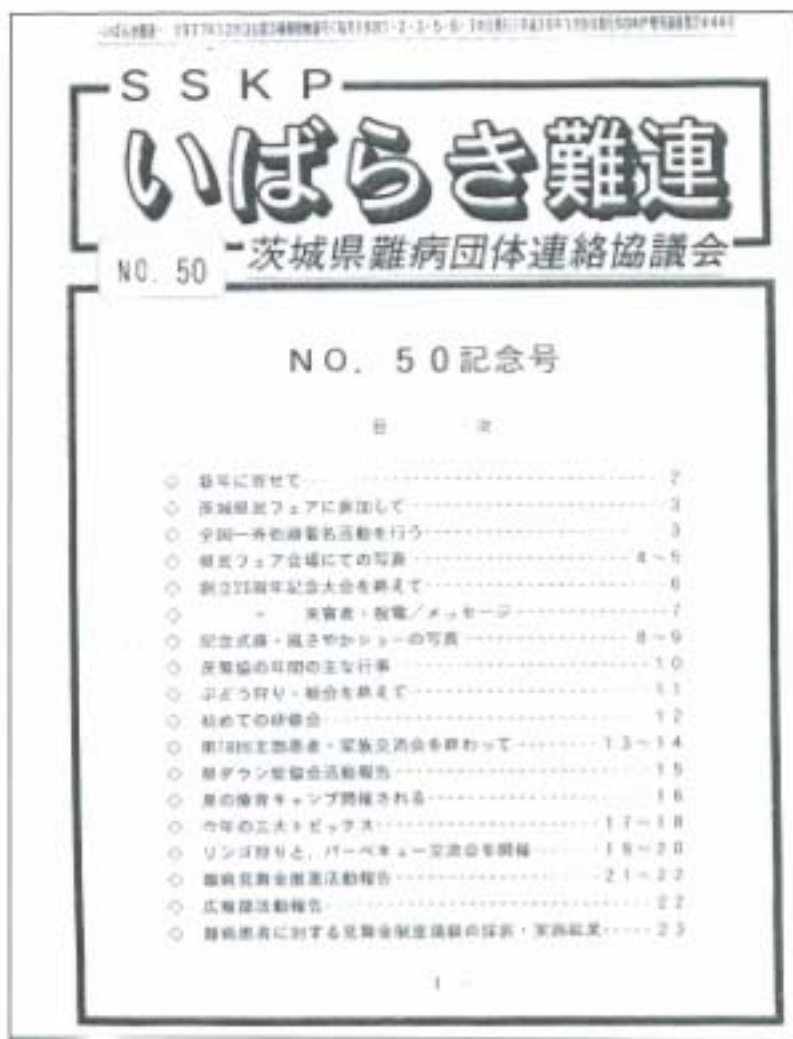
- 4月 第8回支部総会 記念講演 国立水戸病院 吉沢和朗 先生 講演
- 5月 第17回全国大会 「栃木県・宇都宮市」 に参加
- 7月 JPC全国交流会 「北海道・札幌市」 に参加
- 10月 第8回患者・家族交流会 「大子温泉・福寿荘」 で開催



全国パーキンソン病友の会茨城県支部 H.5.10.2 於 福寿荘

- 11月 障害者基本法成立

1月 全国会報『50号』発行



4月 第9回支部総会 記念講演 筑波大学付属病院 庄司進一 先生 講演

5月 第18回全国大会「長野県・松本市」に参加



9月 第9回患者・家族交流会「大洗町・かもめ荘」で開催



患者・家族交流会 全国パーキンソン病友の会茨城県支部 平成6年10月5日 於 かつらぎかもめ荘

11月 JPC全国交流会「東京・全共連ビル」に参加

【 1995年度 】

10月 第10回患者・家族交流会 「塩原温泉・ぬりや」 で開催



全国パーキンソン病友の会茨城支部結成十周年記念 平成7年10月7日 塩原/ぬりや旅館

11月 JPC全国交流会 「北海道・札幌市」 に参加



J P C 全国交流集会

【 1996年度 】

2月 支部結成10周年記念誌発行

4月

第11回支部総会 記念講演 水戸赤十字病院神経内科 鈴木則宏先生 講演

SSKA

あゆみ

〔支部結成10周年記念誌〕



全国パーキンソン病友の会
茨城県支部

4月 難病情報センター事業開始

第11回支部総会 記念講演 水戸赤十字病院神経内科 鈴木則宏先生 講演

第11回支部総会 記念講演 水戸赤十字病院神経内科 鈴木則宏先生 講演

講演会や役員選出
第11回支部総会 記念講演 水戸赤十字病院神経内科 鈴木則宏先生 講演

第11回支部総会 記念講演 水戸赤十字病院神経内科 鈴木則宏先生 講演

病気の正しい認識
推進へ向け講演会
パーキンソン病友の会

8月 第20回全国大会「熊本県・熊本市」に参加

10月 第11回患者・家族交流会「大子温泉・福寿荘」で開催



全国パーキンソン病友の会茨城県支部 平成8.10.12 於：リバーサイド奥久慈温泉荘

11月 JPC全国交流会「東京・霞ヶ関」に参加

【 1997年度 】

- 1月 難病患者等居宅生活支援事業 開始
- 4月 難病患者生活支援促進事業 開始
- 第12回支部総会 記念講演 県立医療大学付属病院神経内科 永田博司 先生 講演

- 5月 第21回全国大会「愛知県・蒲郡市」に参加
- 10月 第12回患者・家族交流会「大子温泉・福寿荘」で開催



全国パーキンソン病友の会第12回患者・家族交流会 H.9.10.11. 於 福寿荘

- 11月 JPC全国交流会「大阪府・大阪市」に参加

難病患者等居宅生活支援事業 開始
 難病患者生活支援促進事業 開始
 第12回支部総会 記念講演 県立医療大学付属病院神経内科 永田博司 先生 講演
 5月 第21回全国大会「愛知県・蒲郡市」に参加
 10月 第12回患者・家族交流会「大子温泉・福寿荘」で開催
 11月 JPC全国交流会「大阪府・大阪市」に参加

【 1998年度 】

4月 「難病特別対策推進事業」創設

第13回支部総会 記念講演 筑波大学付属病院神経内科 庄司進一 先生 講演



10月 第13回患者・家族交流会 「潮来市・潮来ホテル」で開催



6月 第22回全国大会 「埼玉県・大宮市」に参加

7月 茨城難病連が各市町村に難病見舞金制度に関する請願書提出開始



平成10年10月3日

【 1999年度 】

- 4月 第14回支部総会 記念講演 筑波大学付属病院医科学系 紙屋克子 先生講演
- 5月 パーキンソン病友の会 茨城県支部長 清水昇勝 氏が茨城県難病連会長に就任
- 8月 がんばれ難病患者日本一周激励マラソン 茨城県通過(8/29~9/1)



1999年(平成11年)8月31日 火曜日

茨城新聞



難病理解訴多全国縦走

患者らの団体の代表者が、難病の理解を訴えるため、全国縦走マラソンに参加する。茨城県支部長清水昇勝氏も参加する。...

施策要望し患者を激励

患者の生活の質を向上させるため、政府や自治体に対し、難病対策の要望を伝える。...

1999年(平成11年)8月31日 火曜日

茨城新聞



難病患者激励に全国走る

水戸入りで歓迎集会。難病に苦しむ患者らを励ますため、支援者らとともに全国を走り続ける日本和道さん一行が前...

水戸市で歓迎集会。難病に苦しむ患者らを励ますため、支援者らとともに全国を走り続ける日本和道さん一行が前...

水戸市で歓迎集会。難病に苦しむ患者らを励ますため、支援者らとともに全国を走り続ける日本和道さん一行が前...

8月 がんばれ難病患者日本一周激励マラソン 茨城県通過(8/29~9/1)



日本一周マラソン

北海道出発し
57日で水戸に
到着

難病患者マラソン

このマラソンは、難病患者の社会復帰を目的として、毎年8月下旬から9月上旬にかけて、北海道の札幌市をスタート地点とし、水戸市をゴール地点とする。今年も、約50名の難病患者が参加し、約57日かけて水戸市に到着した。このマラソンは、難病患者の体力向上、社会復帰のきっかけづくり、また、社会への理解を深めることを目的としている。

福本知事と澤本さん

伴走者の方々



毎日新聞

難病対策の早期確立など訴え

7月から4カ月間かけ
日本一周激励マラソン
患者・家族団体協力が実施

【水戸】日本一周マラソン実行委員会主催の「日本一周激励マラソン」が、北海道札幌市をスタート地点とし、水戸市をゴール地点とする。今年も、約50名の難病患者が参加し、約57日かけて水戸市に到着した。このマラソンは、難病患者の体力向上、社会復帰のきっかけづくり、また、社会への理解を深めることを目的としている。

【水戸】日本一周マラソン実行委員会主催の「日本一周激励マラソン」が、北海道札幌市をスタート地点とし、水戸市をゴール地点とする。今年も、約50名の難病患者が参加し、約57日かけて水戸市に到着した。このマラソンは、難病患者の体力向上、社会復帰のきっかけづくり、また、社会への理解を深めることを目的としている。

難病患者の支援訴え力走

6-22「きこ日かけ」
日本一周マラソン

札幌の沢本さん、29日にも本県入り

【水戸】日本一周マラソン実行委員会主催の「日本一周激励マラソン」が、北海道札幌市をスタート地点とし、水戸市をゴール地点とする。今年も、約50名の難病患者が参加し、約57日かけて水戸市に到着した。このマラソンは、難病患者の体力向上、社会復帰のきっかけづくり、また、社会への理解を深めることを目的としている。

10月 第14回患者・家族交流会「大子温泉・福寿荘」で開催



全国パーキンソン病友の会 茨城支部 11.11.8 於 リバーサイド奥久慈

- 第23回全国大会「千葉県・舞浜」に参加
- 第2回アジア太平洋パーキンソン病シンポジウム国際会議「千葉県・舞浜」で開催・参加
- 「千葉県・舞浜」で開催・参加

11月 JPC全国交流会 激励マラソン東京到着歓迎集会「東京・浦島」に参加

（日）平成12年2月26日（土曜日）

常陽リビング 1143号

2/26 2000

常陽リビング 土曜版

発行所 常陽リビング社 土曜版編集：13-10
 〒950-0292 新潟県新潟市東区 1-10-10
 TEL:025(25)21-1184 (FAX) TEL:025(25)24-0441
 〒950-0002 新潟県新潟市中央区 1-1-1
 TEL:025(24)21-1184 (FAX) TEL:025(24)22-0542

読者の皆様へ
 本誌は、新潟県内の各自治体、各団体の皆様からのご協力を得て発行しております。また、本誌の発行に際しては、新潟県内の各自治体、各団体の皆様からのご協力を得て発行しております。また、本誌の発行に際しては、新潟県内の各自治体、各団体の皆様からのご協力を得て発行しております。

春は美しく

Mer Bleu

TEL:025(25)66-6500

難病と闘いながら
 歌に生きる
 第二の人生

守谷の益田功(北原純)さん

歌の指導と慰問公演を生きがいに

心身のため
 健康・美容・生活
 キャンペーン中

今なら全コース入会無料

コンピュートレーニングセンター
 0155-33-0214

- 4月 第15回支部総会 記念講演 順天堂大学脳神経内科 森秀生 先生 講演
支部会報 50号 発行
- 6月 第24回全国大会「新潟県・新潟市」に参加
- 10月 第15回患者・家族交流会「いこいの村・ひぬま」で開催
- 11月 JPC 全国研修会「静岡県・熱海市」に参加



あの町のあつらひ



講演のあいだに、横濱の舞子さんが、病の体験を語り、聴き手へ語りかける。

美しい歌声を聴き、いっしょに病を乗り越えよう。

パーキンソン病 診断と治療 介護の講演 11日つくば

高齢者の増加に伴い、手が震えたり、顔面が硬直し、歩行がぎこちなくなるとして知られるパーキンソン病。...

パーキンソン病を理解して

専門家のアドバイスを聞く

専門家のパーキンソン病に関する一般的な理解を広げ、患者や家族、医療関係者等に専門家のアドバイスを聞くことが勧められた。

友の会の結成が始まった同講演会。最初に横濱大学臨床医学部神経内科の庄田進一教授が「パーキンソン病の診断と治療」、同大社会医学系看護学部の植原英子教授が「パーキンソン病のための在宅介護」と題して、それぞれ講演する。

上福一高合唱部 初の定期演奏会

病闘の成果を披露

土浦一高合唱部の「第一回定期演奏会」が、土浦市ウチワの県立土浦芸術センターホールで開演された。

この演奏会は、同合唱部の活動により、1年間の合唱部が、練習の成果を披露しようとして開いたもの。

パーキンソン病医療講演会

11日、つくば国際会議場で

元プロ歌手で患者の北原さんが作った「ふれあい音頭」も披露

パーキンソン病に対する一般の理解を広げると同時に、一人で悩む患者の悩みや不安、介護者や家族の悩みや不安、病闘の成果を披露する。

「ふれあい音頭」は、パーキンソン病患者の北原さんが作ったもので、病闘の成果を披露する。...

「ふれあい音頭」は、パーキンソン病患者の北原さんが作ったもので、病闘の成果を披露する。...

を「楽しい」と感じている。問い合わせは清水さん（〇二九九一三二五五八）まで。

4月 第16回支部総会 記念講演 国立水戸病院神経内科 吉沢和朗 先生 講演
読売新聞に寺門さんの記事掲載

5月 第25回全国大会「和歌山県・和歌山市」に参加
北原純 さんの「ふれあい音頭」カセットテープ完成

2001年(平成13年)4月1日(日曜日)

「やさしい介護学」

パーキンソン病の患者と家族を励ます歌「ふれあい音頭」のカセットテープ完成

希望者に配布

常 隆 リ ビ ン グ (5) 平成13年5月26日(土曜日)

このカセットテープは、和歌山県和歌山市で第25回全国大会が開催された。この大会で、北原純さんが「ふれあい音頭」として、パーキンソン病患者と家族を励ますための歌を作曲された。この歌は、和歌山県和歌山市の「ふれあい音頭」カセットテープとして完成された。このテープは、希望者に配布される。

「やさしい介護学」

パーキンソン病の患者と家族を励ます歌「ふれあい音頭」のカセットテープ完成

希望者に配布

常 隆 リ ビ ン グ (5) 平成13年5月26日(土曜日)

10月 第16回患者・家族交流会「大子温泉・福寿荘」で開催



全国パーキンソン病友の会会報編集委員 2001.10.13. 於 福寿荘

11月 第3回アジア太平洋パーキンソン病シンポジウム国際会議「香港」参加
JPC全国交流会「東京・霞ヶ関」に参加

4月 第17回支部総会 記念講演 自治医科大学神経内科 藤本健一 先生 講演

※ 読売 14. 3. 26

自治医科大学神経内科 藤本健一先生が、新刊『新しい時代を歩いたパーキンソン病の治療』の出版を記念して、講演会を開催した。講演は、入場無料、問い合わせは茨城県支部 (029-22-5909)。

※ 茨城 14. 4. 5

パーキンソン病 講演会、14日に 水戸
パーキンソン病の社会的啓蒙を目的とした講演会が十四日、水戸市千波町の自治会福祉会館で午後一時半から開かれ

講演会は茨城県パーキンソン病友の会支部(前水戸支部長)主催。自治医科大学の藤本健一助教授が「新しい時代を歩いたパーキンソン病の治療」をテーマに講演する。入場無料。問い合わせは同支部 029-22-5909。



5月 第26回全国大会「千葉県・木更津市」に参加
清水支部長 歴代5代目全国パーキンソン病友の会会長に就任

10月 JPC街頭署名・募金活動 (県民まつり・笠間会場で実施)
第17回患者・家族交流会 「常陸太田市・ときわ路」で開催



「全国パーキンソン病友の会茨城県支部」H14.10.19 於 ときわ路

3月 新聞記事「難病患者切り捨てるのか」掲載



- 4月 第18回支部総会 記念講演 自治医科大学神経内科 藤本健一 先生講演
- 6月 第27回全国大会「石川県・金沢市」に参加
- 9月 第18回患者・家族交流会「土浦市・サンレイク土浦」で開催



- 10月 第4回アジア太平洋パーキンソン病シンポジウム国際会議「韓国・ソウル」に参加



- 11月 JPC全国交流会「東京・浦島ホテル」に参加

